

子ども達の「なぜ?」「どうして?」

先日の園内研修で、統括園長よりNHKの“アイラブミー”という番組の紹介がありました。

主人公は好奇心旺盛な5歳児の“ミー”。

ミーの頭に浮かぶのは、誰もが一度は考えたことがあるような《からだやこころ》にまつわる不思議。ふとした疑問をきっかけに、どんどんミーの空想や思考実験が繰り広げられ、自分を大切にすることを学ぶアニメーションとなっています。

第一話は『なんでパンツを穿くんだろう?』という疑問についてです。

犬がパンツを穿いていないのを見て、ミーはパンツを穿いていることを疑問に思い、道でパンツを脱いでしまいます。

「ダメダメ～」と注意され、理由を知る旅に出ます。

そこで『大事なところを隠すため』ということや、『自分を大切にする』ということを知ります。

この番組の監修の方は、“**自分を知るためには、自分のからだを知り、自分のこころを知ることが大切。そうすれば「自分を大切にする」ということの意味もわかるはず**”とおっしゃっていました。めまぐるしく変化する時代、しっかりと自分を持ち、流されない生き方を見つけることが大切ですね。園でも子ども達に“自分”について知らせていこうと“心育”や“子ども会議”を取り入れています。絵本だけでなく、マジヨラムではディスカッションの時間を設け「今の話を聞いてどう思ったか」を意見交換するなど、相手を認め思いやる気持ちを育てています。

話し合いの際には、どのような発言も聞くことを意識し、多様性を受け入れる気持ちが育つように関わっています。

こういうことを積み重ねていくうち、子ども達に変化を感じる場面が出てきました。

例えば、ダンスを通しての表現活動をおこなっていた時のこと…

少し恥ずかしがり屋の女の子はいつも端の方で、小さめに身体を動かして参加していました。

「何かいい動きはないかな?」とみんなで振り付けを考えていた際に、その女の子の動きをみんなが真似して「〇〇ちゃんのそれいいね!」「それにしよう!」と振り付けが決定しました。

その後も変わらず恥ずかしがってあまり前に出ない子でしたが、みんながありのままを受け入れてくれたので、自信に溢れた表情を見せるようになりました。

今後も子ども達がさまざまな経験をし、自分の気持ちに耳を傾け、素直に行動して行って欲しいです。

今回この番組を見て、改めて「自分を大切にする」ということの意味について考えました。

どういったことが自分を大切にすることなのか、言葉で表すのはなかなか難しいですが、個性を大切に、そして自分らしく育って行ってほしいと願います。(もちろん職員もです!)

また、私が常に念頭に置いているのは『未来に羽ばたく子ども達のために、無限の可能性を引き出す』ということです。

今回の研修を経て、改めて一人ひとりが持つ個性や無限の可能性を出来る限り伸ばし、自信を持って未来へ羽ばたいて行って欲しい、と心から強く思いました。

(侑希)

